原爆の恐ろしさ

北中一年　住田汰一

被爆者の方の話を聞くまでは、戦争、原爆の恐ろしさは、ネットや教科書でしか知らなかったが、体験した人からの話を聞くと、より一層戦争の恐ろしさ、みにくさが伝わってきました。

僕の親は二人とも実家が広島で、夏休みに毎年帰っていたので、戦争のことに少しは興味があったのですが、ここまでくわしく調べたことがなかったので、とてもいい機会だったと思いました。

話を聞いていると、被爆者の悲しみや怒りのすべてが伝わってきました。

僕が一番不思議に思ったことは爆弾に名前があったことです。僕は爆弾に名前などは全く必要ないと思いました。

「爆弾なんて必要ない。」「存在する意味がない。」それなのになぜ名前がついているのかとても不思議に思いました。

20 × 20

戦争や紛争はまだまだ、世界各地で行われています。それは僕たちではどうすることもできません。しかし、それがなくなることを願ったり、そのもとになるような事を防ごうとする努力はだれでもできると思います。

少しでも戦争などに目を向けてみることだけでもいいから、もっと戦争の恐ろしさを知ってほしいです。はじめは小さいことかも知れませんが、それが世界中に広がれば、戦争はなくなると思います。僕はもっと原爆の恐ろしさを知ってほしいし、もっと関心をもってほしいと思いました。僕は原爆の恐ろしさを一生忘れません。

20 × 20